

願い実現へ 次世代が全力

日本共産党 京都府会議員

西山のぶひで

プロフィール●府会議員1期 府議会文化教育常任委員。1986年伏見区淀で生まれる(36歳)。立命館大学文学部卒。京都市保育園保護者会連合協議会副会長

<https://twitter.com/nishiyamanobu>



府議会によせられた署名

今年度から府立高校にタブレットが導入され、約7万円の新たな自己負担に。府民から寄せられた7000筆以上の署名と保護者の実態をもとに府議会で論戦。1万円から2万円の補助金を府が出すことになりました。全国半数の自治体は全額公費負担です。引き続き運動を強めています。

府立高校のタブレット自己負担に反対 運動の力で一部助成を実現



伏見区の食材支援で学生の実情を聞く

コロナ禍の学生の実態を紹介し 初の学生支援(食材支援)策を実現

みなさんの力で府議会に送り出していただき3年半。コロナ禍が続く中で、暮らしの願いを府政に届け、一緒に実現してきました。伏見区の願いを実現するまで奮闘する日本共産党的議員として引き続きがんばります。

府会



どんなときも、徹底論戦。

日本共産党 京都市会議員

やまね智史

プロフィール●1980年生。龍谷大卒。2015年初当選(現在2期目)。公共施設充実、PCR検査拡充、学生支援、ハラスメント根絶、文化・スポーツの環境整備、交通・観光政策、水道民営化反対などで日々論戦中。京都サンガ議連副会長。

市会
とも ふみ
質疑文字
起こしは
コチラ→



市長も悪徳業者も 住民目線で徹底追及

ウソもゴマカシも許さない

「30代女性の乳がん検診」「障害者施設への補助金」等、数百万～数千万円規模の福祉予算を削る一方、「北陸新幹線延伸」「市庁舎整備」「芸大移転」等、数百億円以上の大型事業を見直さない市長を追及。京都市の“財政危機キャンペーン”のウソ・ゴマカシを徹底的に明らかにしました。

(市長総括質疑、2021年3月)



証拠つきつけ答弁引き出す

悪質な民泊事業者が計画に反対する住民を脅すような文書を送りつけていた問題を告発。「特段トラブルは聞いてない」とごまかす副市長答弁を許さず徹底追及。最後は「改善されなければ撤退してもらうことも視野に指導する」と約束させました。

(市長総括質疑、2020年10月)



ここがポイント!



絵本のこたち
熊谷聰子さん

#京都市政を可視化する やまねさんの発信力に期待!

やまねさんと初めてお会いしたのは、コロナ禍に「困り事はないですか?」と訪ねて来てくれた時です。選挙のお願いに来る議員はいても、困り事がないか声をかけてくれたのは共産党さんだけでとても新鮮でした。絵本屋には死活問題のインボイス制度はじめ、大企業に有利な消費税のカラクリを詳しく教えていただいたり、暮らしと政治をぐんと近づけてくださいました。やまねさんのSNSでの発信や活動ニュースを見ると、市議会で何が議論されているかがよくわかります。市民と議会を結ぶ活躍をこれからも期待しています!



防災対策を進めてきた議席を引き継いで

2013年の台風18号や2018年の大阪北部地震など、伏見でも被害が発生した時、国會議員とともに現地を調査し、国や府へ住民のみさんの要望をあげてきました。地域の防災対策を進めるために奮闘した故西山秀尚、上原裕見子さんらの議席を引き継いでがんばります。

この地域のみなさんに初めて市議会へ送り出して、今まで何でも賛成する議員、住環境を破壊する悪質な民泊事業者、相手が誰であろうと、「住民の立場で徹底論戦」が私の信条です。伏見の地下に大穴をあける北陸新幹線延伸計画は、ムダな巨大開発の典型です。私たちの暮らしには、新たな新幹線ではなく、「小型の循環バス」「保健所の強化」「医療費の軽減」「全員制の中学校給食」などが必要です。どんな困難な問題でも、あきらめず、住民のみなさんと一緒に動きます。ぜひあなたの声をぶつけてください。

切実な願い集め、改革提案で 市政を動かす

市政アンケート返信(2021年2月～5月) 2400人超、生活相談7000件超(2019年4月～)、事業者訪問120件超(2022年1月～4月)、切実な声をもとに、京都市に対して25次にわたって申し入れを行ってきました。



市民のみなさんと共に、切り開きました

- 子育て世帯への臨時特別給付金(2021年)
当初案は「分割・クーポンでの支給」だったが、組み換え案も提案し「10万円一括現金給付」が実現
- 固定費補助、10/10補助などの中小業者支援
- 「奨学金・テキスト代・家賃支援」など、学生への経済的支援を実施する大学に補助金
- 高齢者施設での定期的なPCR検査の実施

え!? 実は、黒字!【京都市財政】 (2021年度)

市長は「毎年500億円の財源不足 このままでは財政破たん」(2020年11月)と財政危機を煽っていました。しかし、今年8月、「昨年度2021年度決算は黒字で危機は回避」と発表。「財政破たん」と市民を脅す誇大宣伝」という議員団の指摘通りとなりました。



市民への負担増は撤回しかありません

市長は、增收分の内**187億円**を、予定にはなかった公債償還基金の積立に充てています。

187億円あれば、やめられます

敬老乗車証一部負担金の値上げ …… 約4億8千万円
民間保育園への補助金カット …… 約13億円
学童保育料の値上げ …… 約1億6千万円
国民健康保険料値上げ …… 約14億円

改悪計画も止められます!

市バス運賃8%、地下鉄運賃7%の値上げ! 路線・ダイヤの縮小も
保育料の値上げ(2022年度は見送り)
消防職員3年間で150人削減(2022年度は49人)

他党は、子どもから お年寄りまでの負担増に賛成

- ▶民間保育園補助金カット 削減を「改善」と評価(維新)
- ▶敬老乗車証制度の大改悪

共産	自民	公明	民フ
反対	賛成	賛成	賛成

京都党・維新の会は、負担金一律
2万9440円を提案
(生活保護・非課税世帯も含む) **これまでの約10倍!**

市民の願い実現、本気の政党は!?

請願書・意見書に対する各党の態度	共産	自民	公明	京都	維新	民フ	立憲
請願「国民健康保険料の引き下げ」(20年2月市会)	○	×	×	×	×	×	×
請願「小学校のような全員制の中学校給食の実施」(21年2月市会、11月市会)	○	×	×	×	×	×	×
請願「消費税5パーセント以下への引下げの要請」(22年6月市会)	○	×	×	×	×	×	×

○: 賛成 ×: 反対



新型コロナ対策
でも奮闘

寄り添い、届け、実現する 確かな議席

2020年以来、十数回の街頭調査活動をはじめ、医療関係者などさまざまな団体・個人を訪問し、要望を伺ってきました。そうした声を力にして、15回の申し入れを行い、入院待機ステーションに高齢者も入院できるよう求めるなど、新型コロナ対策を一步ずつ前進させてきました。



新型コロナ発生直後から医療・介護現場で聞き取り

中小企業の願い受け、コロナ支援制度を拡充

日本共産党の国会議員や京都府会・市会議員団には、どうすれば中小企業を救うことができるのかと研究を重ねていただき、600以上の組合員に持続化給付金が支給されました。また、いわゆる「不備ループ」の解決にも力を貸していました。

全京都企業組合連合会会長 大嶋喜好さん

京都初 学生支援の扉をひらく

コロナ禍で困窮する学生への「食材提供プロジェクト」が取り組まれ、府議団も相談員として参加。学費無償化をめざす学生団体のみなさんとも連携し、食材支援への補助など京都府としては初の大学・学生支援策を実現させました。



学生団体のみなさんの申し入れと意見交換

府議会に寄せられた請願 1853件 すべて党議員団が紹介



請願・意見書に対する各党の態度(一部)

	共産	自民	公明	府民*	維新
選択的夫婦別姓を求める請願(22年6月議会)	○	×	×	×	×
消費税減税・インボイス中止を求める意見書(22年2月議会)	○	×	×	×	×
高齢者医療費2倍化中止を求める意見書(21年6月議会)	○	×	×	×	×
給食や教材費の無償化を求める請願(19年12月議会)	○	×	×	×	×

○: 賛成 ×: 反対

*民主系

[知事与党(自民・公明・府民・維新)が推進]

北陸新幹線延伸(2.1兆円以上)

北山エリア開発(350億円)よりも、

府民の税金は 医療・福祉・教育に使おう

府立大内に1万人アリーナ(175億円)
植物園を営利の場に

府議団
LINE公式
アカウント



府政情報など
発信中!!

アンフェアな世の中を変えよう 市民と 日本共産党の連帯の力で

コロナ禍で格差拡大
男女の賃金格差

軽い大企業の税負担・重い消費税